

令和 4 年 3 月 22 日

令和 3 年度 特別の教育課程の実施状況等について

沖縄県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
金武町立中川小学校	金武町教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の 公表ウェブサイト名・URL 等	学校関係者評価結果の 公表ウェブサイト名・URL 等
金武町立 中川小学校	金武町立中川小学校ウェブサイト 令和3年度特別の教育課程の自己評価結果について http://kin-ed.sakura.ne.jp/kiraring/kn_syokai/kn-english-01.html	金武町立中川小学校ウェブサイト 令和3年度特別の教育課程の学校関係者評価結果について http://kin-ed.sakura.ne.jp/kiraring/kn_syokai/kn-english-02.html

※ 8 月末までに上記 URL において公開

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

これからの時代において必須となるグローバルな視野を持った人材を育成するため、1～4 学年に「英語活動」を設置し、「外国語活動」と合わせて年間 34～50 時間を英語教育に充てる。

- ・ 小学校 1 学年において、音楽を 11 時間、図画工作を 11 時間、体育を 12 時間削減し、34 時間の「英語活動」を設置する。
- ・ 小学校 2 学年において、音楽を 10 時間、図画工作を 10 時間、体育を 15 時間削減し、35 時間の「英語活動」を設置する。
- ・ 小学校 3～4 学年において、総合的な学習の時間を 15 時間削減し、外国語活動とあわせて、3・4 年生で 50 時間の「英語活動」を設置する。

※教育課程全体は【別表 1】の教育課程編成表を参照

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

金武町は、明治・大正時代、當山久三翁に代表されるように、ハワイをはじめ北米・フィリピン・中南米への海外移民の先駆をなし、現在多くの方々が現地で活躍している。そのような歴史的背景から海外移住者子弟等の受け入れ事業、ハワイ州カポレイミドルスクール姉妹校交流事業、ハワイ短期留学派遣事業、海外ホームステイ派遣事業等の国際交流事業が行われてきた。

金武町は、リゾート施設(外国資本)・医療施設・リハビリ施設等の一体型施設が着実に建設されており、英語を使える人材の育成が望まれている。よって、平成 27 年度以降、小中が連携した系統的・段階的な英語活動(英会話科)の推進で、本町の掲げる「国際性に富んだ人材育成」を図って

いる。

(3) 特例の適用開始日

平成 27 年 4 月 1 日

平成 30 年 4 月 1 日 変更

令和 2 年 4 月 1 日 変更

(4) 取組の期間

令和 4 年 3 月 31 日まで

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ☒ 計画通り実施できている
- ・ 一部、計画通り実施できていない
- ・ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ☒ 実施している
- ・ 実施していない

<特記事項>

4. 実施の効果及び課題

中川小学校では「夢や目標を持ち、心身ともに健康でたくましく、持続可能な社会に貢献する」を大きな柱とし、「よく考えやり抜く子(知)」「心はひろく思いやりのある子(徳)」「健康でたくましい子(体)」を教育目標に掲げている。また、国際理解教育の目標として、①地域を愛する心を育て、日本の文化・伝統に誇りをもつとともに外国の文化を理解し、互いに尊重する態度を育てる、②相手の気持ちを思いやり、だれとでも仲よくする気持ちを育てる、③自分の考えや意見をはっきり表現できる子を育てる、を元に低・中・高学年別に目指す子ども像を立て、日々の英語活動に取り組んでいる。また、本校はユネスコスクールであり、本特例校事業を国際理解教育の一環として E S D 教育 (Education for

Sustainable Development, 持続可能な開発のための教育) を推進している。

児童アンケートを見ると、どの学年も友達と楽しみながら、英語活動を行っていることが伺える。学年が上がるにつれて、楽しさの割合がアップしていることから、英語学習の積み重ねが、授業に向き合う自信につながっていることが考えられる。

しかし、ALTとの英語でのコミュニケーションは、学年が上がることにより内容がレベルアップしていくので、自信がもてない児童が一定数いることがうかがえる。

金武町には米軍基地があり、基地従業員も多く、保護者のネイティブスピーカーとの会話をすることが多いことから、身近に英語を必要と考える児童も多い。【別表2】

児童(1～4年)へ行ったアンケートには、下記のような感想が寄せられた。(抜粋)

「英語を勉強することは大切だと思いますか。なぜそう思いますか。」の問いに対して

- ・英語で外国人とのコミュニケーションをとれるから
- ・好きな昆虫や生き物が外国にいたので、捕まえに行くとき英語が必要
- ・何かでプロに行ったとき使うから
- ・大人になったら英語が話せないはずかしいから
- ・困っている外国人を助けてあげられるから
- ・外国の人と英語を話したら、その人の気持ちがわかるかもしれないから
- ・英語を使えば外国の人としゃべるのが楽しそう

教師へ行ったアンケートには、下記のような感想が寄せられた。(抜粋)

- ・ALTの先生のおかげで、こちらも気負い無く、間違いながらも英語を楽しむ姿勢を児童に見せることができた。
- ・町では、3学期に英検ジュニアを行っているため、ぜひ年間の授業カリキュラムに2～3時間程度練習する時間を入れて欲しい。
- ・児童が新しいことを知るたびに喜んでくれるので、ALTの先生と授業プランを立て、実践できることが楽しい。
- ・恥ずかしがっていた子どもたちが、英語の歌やアクティビティを通して、抵抗感なく意欲的に表現するようになった。
- ・クイズレットライブを活用し英単語の練習を行うことで、ゲーム感覚で英単語練習ができた。

保護者へ行ったアンケートには、下記のような感想が寄せられた。(抜粋)

(低学年)

- ・お姉さんと発音はこうですとニコニコで話していました。いろいろな単語や歌などをよく歌っています。
- ・低学年から親しむことで英語への苦手意識なく、スムーズに学べており、発音も良いと感じます。
- ALTの先生と会話したり、使える英語が身についてくれるといいですね。
- ・早い段階から英語に触れることは良いことですが、「難しい」「苦手だ」という方向に進まないように、低学年などはゲームなど楽しみながら英語を学んでほしいなと思います。
- ・楽しく英語の授業に取り組んでいる様です。これからも英語の授業を行ってほしいです。
- ・ネイティブの方から教わるのは良いと思います。続けていただきたいです。
- ・英語の授業はとても楽しいそうです。コロナが落ち着いたら、アメリカンスクール等の

同年代の子供たちとの交流で習得した言葉が実践できるようにしてほしいです。

- ・今年度より、ネイティブスピーカーの講師なので、前年度より環境は良くなっていると思う。
- ・もっと英語の授業を増やしてほしいです。
- ・よく英語の授業で習った単語や表現の言い方を家でも教えてくれます。

（２）学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

英語活動で学んだことが、学校生活や日常生活で役立ったり、成果を表せたりすることが、児童たちの自信と向上心につながると考えられる。それにおいては、児童だけの意識だけでなく、とりまく人や環境が後押しすることが必須である。

また、各教科に横断的に取り入れるシステム作りも必要であることから、教科を担当する教師が、年間マネージャカリキュラムを意識することで、教科の単元と組み合わせて実施することが、児童の向上心を揺さぶると思われる。

例１ 算数：図形 ＋ 英語 ＝ triangle, square, circle, Draw a line など

例２ 図工：描く ＋ 英語 ＝ color, red, blue, white, Hold a brush など

例３ 社会：地図 ＋ 英語 ＝ map, school, park, station, Turn right など

５．課題の改善のための取組の方向性

４に示したことを踏まえて、成果・課題・今後の方向性を以下に記す。

（１）成果

- ・児童の９割以上が英語の授業を楽しんでいる。
- ・平成２７年度から年度を追う毎に英語を使うことへの抵抗感がなくなっている。
- ・保護者の英語教育に対する評価は高く、今後も取組を継続してほしいという意見が多い。
- ・外国語の互見授業を合計４回実施することができ、小学校と中学校の教諭及び ALT・JTE がお互いの授業を見学することで理解を深めることができた。
- ・昨年度から新型コロナウイルス感染症対策に伴い海外移住者子弟研修生等が来日できないため、３・４年生の計画していた交流会が持てない状況になっている。それに代わる交流として、町内の ALT・JTE の先生方に３小学校に来てもらい国際文化交流を実施したところ、好評であった。

（２）課題

- ・担任や ALT によってスモールトークの取組にばらつきがあった。
- ・チームティーチングや活動内容の充実の向上
- ・外国人との交流の検討・内容充実

（３）今後の取組の方向性

- ・中学校との連携でアプローチカリキュラムを実施
- ・スモールトークの充実、外国人との交流内容の充実
- ・担任と ALT・JTE との打合せの時間の確保
- ・外国人との交流の推進・内容充実

6. 資料

- (1) 教育課程特例校に関する教育課程編成表 【別表 1】
- (2) 令和 3 年度教育課程特例校に関するアンケート（1 年～4 年）【別表 2】
- (3) 令和 3 年度教育課程特例校に関するアンケート（教師）【別表 3】
- (4) 令和 3 年度教育課程特例校に関するアンケート（保護者）【別表 4】

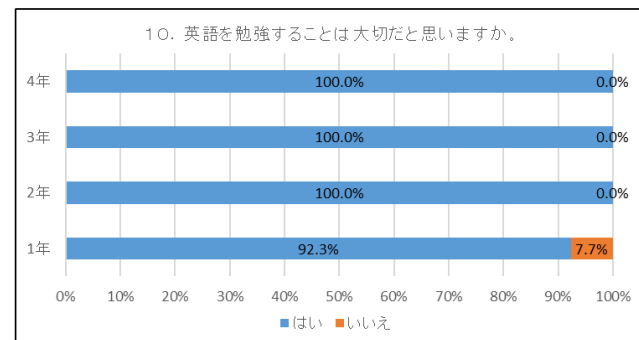
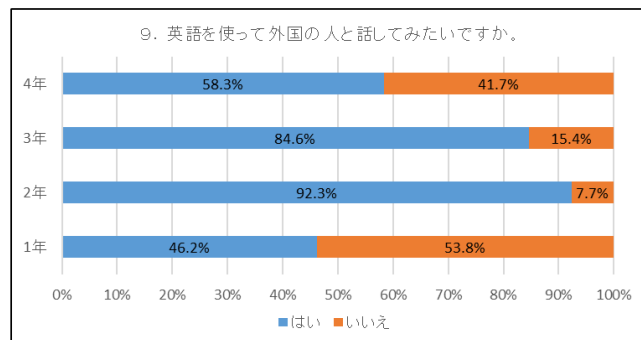
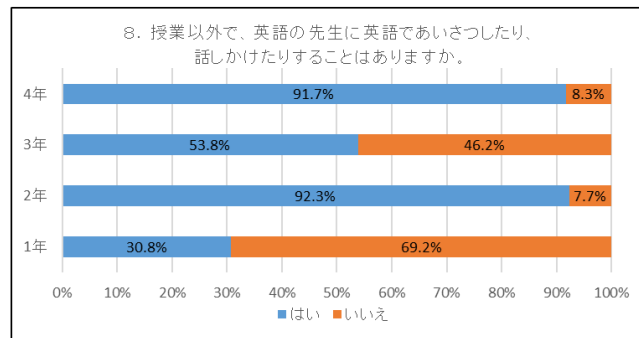
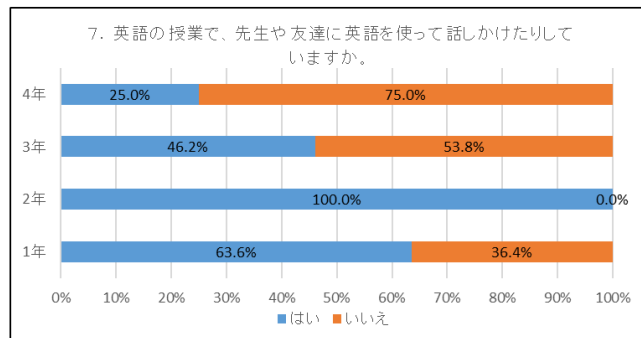
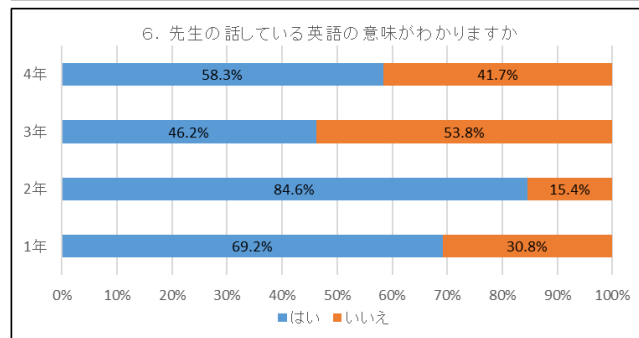
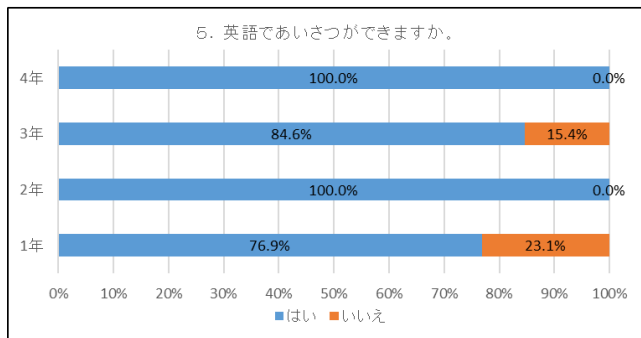
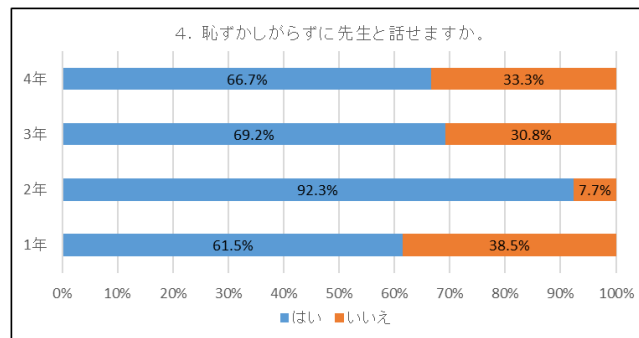
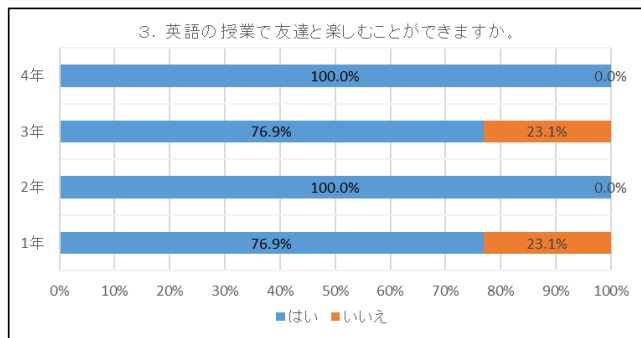
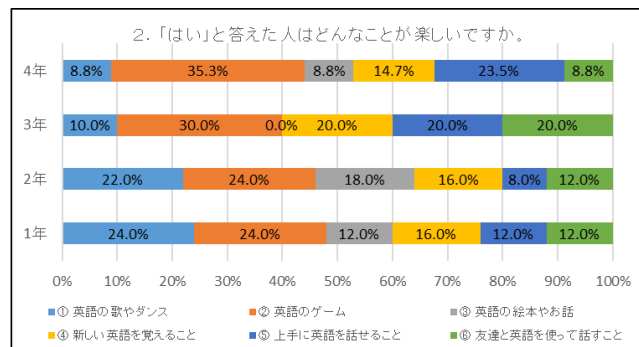
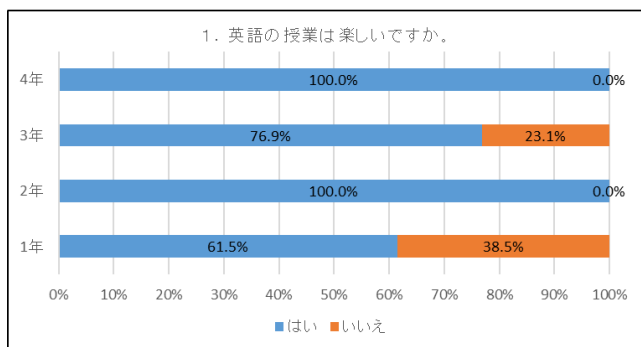
【別表 1】 教育課程特例校に関する教育課程編成表

1. 金武町立全小学校

区分	各教科の授業時数									道徳の授業数	特別活動の授業数	総合的な学習の時間	外国語活動・外国語の授業時数	特例校（英語活動）の授業時数	総授業数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育						
第 1 学年	306		136		102	57 (-11)	57 (-11)		90 (-12)	34	34			34 (+34)	850
第 2 学年	315		175		105	60 (-10)	60 (-10)		90 (-15)	35	35			35 (+35)	910
第 3 学年	245	70	175	90		60	60		105	35	35	55 (-15)	35	15	980
第 4 学年	245	90	175	105		60	60		105	35	35	55 (-15)	35	15	1015
第 5 学年	175	100	175	105		50	50	60	90	35	35	70	70		1015
第 6 学年	175	105	175	105		50	50	55	90	35	35	70	70		1015
合計	1461	365	1011	405	207	337 (-21)	337 (-21)	115	570 (-27)	209	209	250 (-30)	210	99	5785

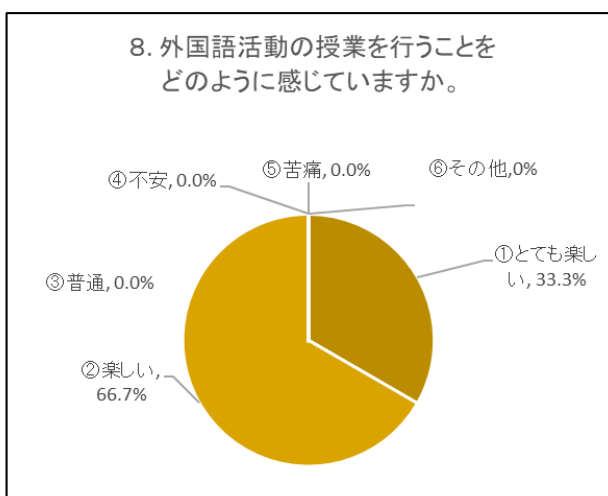
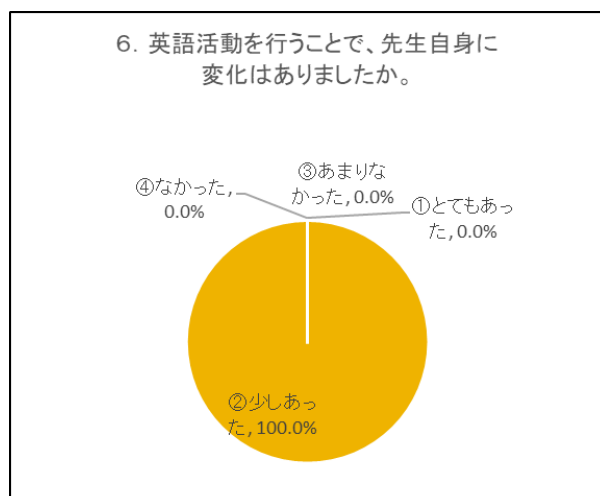
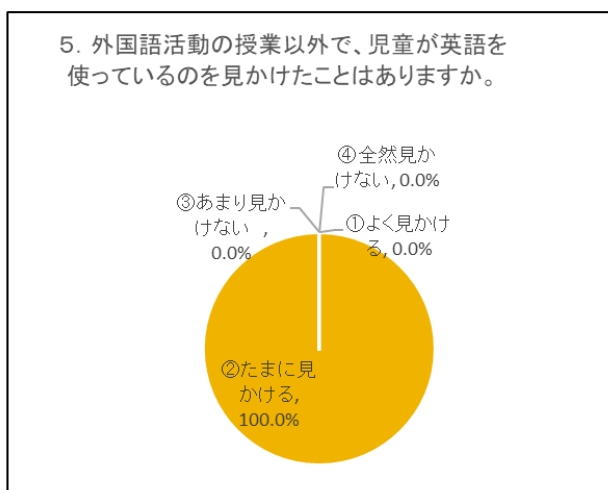
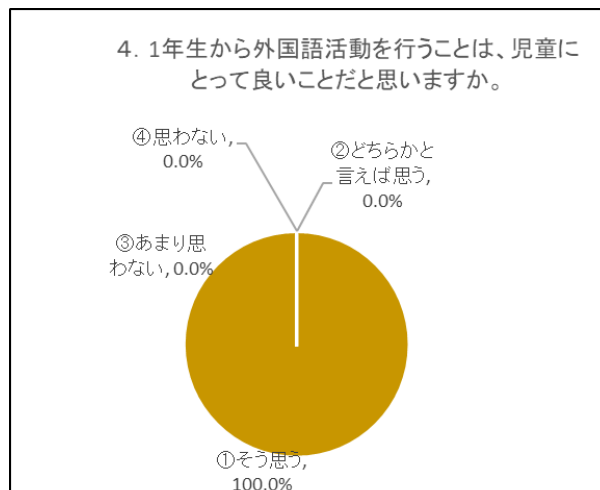
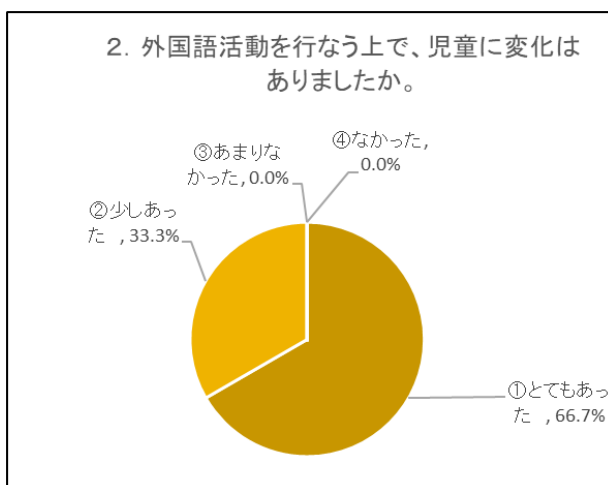
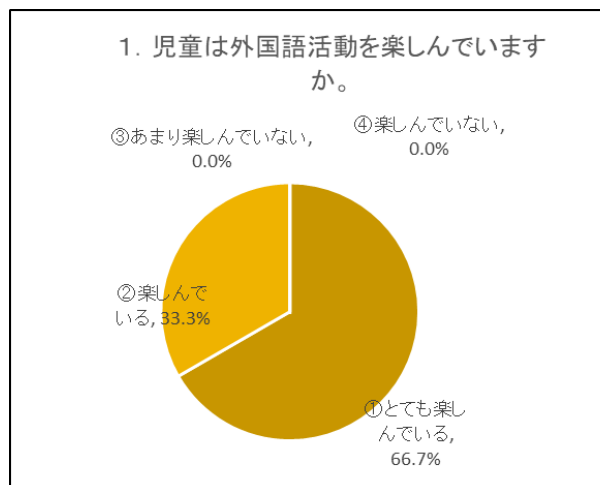
- ※ 第 3 学年～第 4 学年においては、「総合的な学習の時間」15 時間を削除する。
- ※ 標準授業時数と異なる授業時数を設定する教科等については、標準授業時数からの増減を（ ）で記入し、網掛けにて表記。

【別表 2】 令和 3 年度 教育課程特例校に関するアンケート（1 年～4 年）
令和 3 年度 教育課程特例校に関するアンケート（1 年～4 年） 集計表 中川小学校

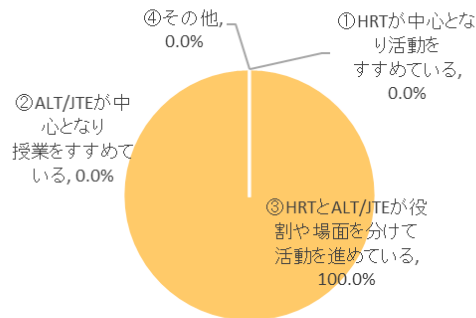


【別表 3】令和 3 年度教育課程特例校に関するアンケート（教師）

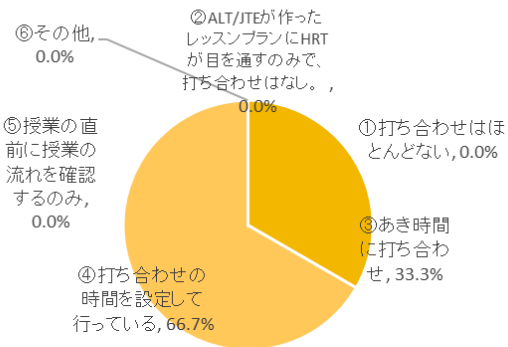
令和 3 年度 英語活動に関するアンケート（教師用） 中川小学校



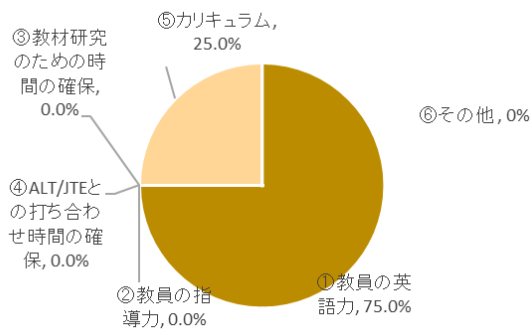
10. TTについて1番ちかいもの。



11. ALT・JTEとの打ち合わせについて。

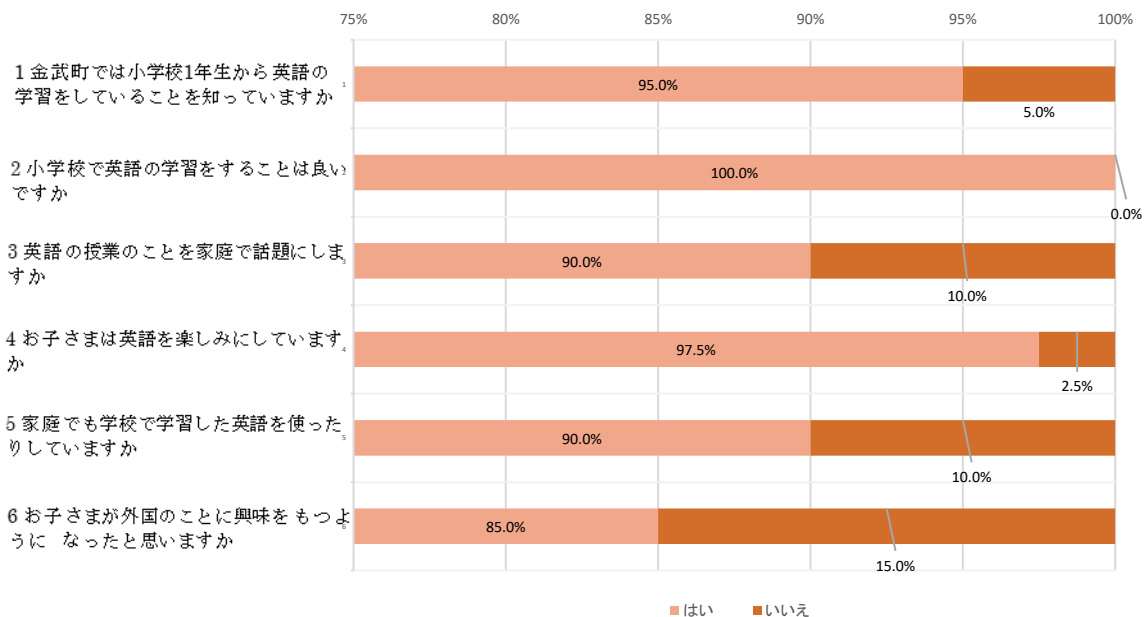


12. 外国語活動を実施する上で課題だと感じていることは何ですか。



【別表 4】 令和3年度 教育課程特例校に関するアンケート（保護者）中川小学校

令和3年度 教育課程特例校に関するアンケート(保護者) 結果



授業の様子

Happy Halloween stamp rally 1年生&2年生



Happy Halloween stamp rally 3年生&4年生

